

教科横断型授業「英語」×「化学」×「政経」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(3番)「すべての人に健康と福祉を」 SDGsの番号(6番)「安全な水とトイレを世界中に」			
実社会での課題	2020年の時点で世界の20億人が依然として安全に管理された飲み水を使用できない状態にあると言われている。浄水処理されていない汚れた水を主原因とする下痢で命を落とす乳幼児は年間30万にもものぼる。これらの地域では浄水設備や貯水設備といったインフラが整っていない、設備があっても維持管理できるシステムになっていないなどの問題がある。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・途上国での水利用の現状を知り、小田兼利さんが開発した水質浄化剤による支援について理解させる。 ・開発に挑み続けた小田さんの生き方から、世界に目を向け、自身のこれからの生き方を考えさせる。 			
主題(教材)	Natto Saves People in Need (納豆が困っている人々を救う) 『Vivid English CommunicationⅢ』(第一学習社)			
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
	導 入	5	<ul style="list-style-type: none"> ・水が利用できない状況が起こりうることを考えさせる。 	パソコン プロジェクタ
	展 示	10	<ul style="list-style-type: none"> ・観察のポイントを知らせる。 ・新出語を提示しながら説明する。 	PGα 21Ca ビーカー 薬品さじ 汚水
	展 示	10	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な価格の決定について復習させ、それをもとに実社会での価格の決定について考えさせる。 	
	展 示	20	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの流れを踏まえて、英文を正確に時系列に並べ替えさせる。 	
展 示	20	<ul style="list-style-type: none"> ・小田さんの開発品が途上国の人々に大きな貢献をしていることを理解させる。 ・現状を悲観するのではなく、前を向く姿勢の大切さを伝える。 		
整 理	小田さんの生き方から、自分の今後の生き方を考える。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の利益を顧みず、情熱を持って活動し続ける小田さんの生き方から自己を見つめさせる。 	
備 考	生徒数17名			